

三中校長だより 保護者地域の皆さんへ

第19号 R4.1.28 (金)



藤井寺市立第三中学校

校長 奥 雅 美

タブレットパソコンの持ち帰り

※パスワードの管理

※家で満充電

近隣の学校でも学級閉鎖や臨時休業が聞かれるようになりました。対面の授業が受けられなくても、リモート授業を受ければ同じかという決してそうではありません。昨年よりリモート授業ばかりの大学生が、意欲を失ったという話も聞きます。大人の私でもリモートの研修は対面の数倍疲れますし、集中力が欠けてきます。当然対面で授業できることが望ましいに違いありません。しかし、対面がどうしても難しいのであれば ICT を活用して家に居る生徒とやりとりする準備を整えておく必要はあると本校では考えています。もし欠席したり、閉鎖になったりしても、タブレットパソコンを毎日持ち帰っておけば、インターネットを通して毎日の健康観察や学校との連絡、宿題のやりとりが可能になります。既に生徒たちは学校でその使用法を習得していますので活用は可能ですが、家で使うときにパスワードを覚えておかないと使えません。また、家で充電をしっかりとしないと学校で一日中使えません。(満充電なら下校まで使用可能)この2点は注意が必要です。そして、いずれこのタブレットパソコンは小中学生・高校生(大学生の場合はノートパソコン)の文房具の一つになります。扱えることが当たり前という時代がすぐによってきます。キーボードにしっかり触れ、どんどん慣れておいて欲しいと思います。

新聞投稿欄掲載 全国デビュー

今度は2年生の投稿文が新聞に掲載されました。国語の授業で、いくつかのグラフの中から一つを選び、エピソードも入れて意見を書くという内容の学習で書いたものを産経新聞社に投稿しました。新聞社から3人の生徒が掲載候補に挙がっていると連絡を頂いていたのですが、そのうちの一人の作品が1月24日の朝刊に「スマホ使用はルールを決めて」という見出しで東京や兵庫の投稿と並んで掲載されました。まさに全国デビューです。投稿の内容は、総務省の10代のインターネットの利用時間がテレビや新聞、ラジオなどのメディアよりも圧倒的に長いことを受け、自分の体験をもとに、家族との時間を大事にするためにもスマホやインターネットの使用はルールや時間を決めるべきだと結んでいます。本校生徒の課題であるスマホの長時間使用について、しっかり考えてくれている様子に感心しました。

また、以前紹介した第67回少女読書感想文コンクール 大阪府特選に入賞した本校3年生の作品も1月19日、顔写真入りで毎日新聞に全文が掲載されました。「With you」というヤングケアラーを取り上げた作品を読んで書いた感想文です。タイトルは「声を挙げる」でした。私は何度もこの文を読んでいます、何度読んでも、よく考え、自分の思いを伝えているなど思います。先日、見知らぬ差出人の方から本校に入賞した生徒宛の手紙が届きました。その中にどのようなことが書かれていたのかは見えていません。しかし、新聞を読んで感じたことを伝えるためにペンを取られたとのことでした。3年生の生徒はその手紙に感動して、またお返事を書くと言っていたそうです。ことばは自分の思いを多くの人に発信することができます。まさに挙げた声が届いたということではないでしょうか。